

## 2021年度クラレグループリスク管理方針、および2020年度海外プラント安全監査の結果について

当社は、グループリスク管理規定に基づき、国内外の各組織においてリスクの自己評価を実施し、リスク・コンプライアンス委員会による提案のもと、経営リスクを社長が決定し、取締役会へ報告しています。選定されたリスクは、リスク毎に統括責任者を選定し、リスクの回避・軽減のための対策を進めています。今般、2021年度におけるクラレグループリスク管理方針を決定しましたので、お知らせいたします。重点課題には「海外プラントにおける保安事故の発生リスク低減」を継続して掲げ、海外関連会社の主要化学プラントに対する安全監査を継続して実施します。また、2020年度に行いました監査結果を、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1、2021年度 クラレグループリスク管理方針について

##### 【基本方針】

- (1) 社会の信任を裏切る違法、不適切な行為の防止を徹底する。
- (2) 社員・地域・顧客・協業先等の安全と健康を脅かす事故・災害（保安事故、労働災害、環境汚染、製品事故等）の防止を徹底する。
- (3) 事業・社会に深刻な影響を与える事象の発生時において、社会の信任、安全と健康を確保し、事業を継続または早期回復させるための対策に取り組む。この場合、社会の信任、安全と健康を、事業の継続または回復よりも優先する。

##### 【2021年度重点課題】

上記方針および近年の社会情勢、当社・他社動向から以下を2021年度の重点課題とする。

- (1) 保安事故の発生リスク低減のため、特に海外プラントについて安全設計のみならず人材育成を含む管理面（運転管理、設備管理）を総点検し、把握した課題に対し実効性の高い対策を確立する。
- (2) グローバルに統一したレベルの機密情報管理体制を整備し、データの保全対策を順次強化する。
- (3) 独占禁止法についてグローバルに構築した独禁法遵守プログラムを確実に運用し、再発防止を徹底する。
- (4) COVID-19の緊急対応を踏まえ感染予防策・感染拡大防止策等を徹底し、パンデミックに対応した事業継続を確実なものとする。

#### 2、海外化学プラント安全監査の実施

##### (1) 背景と目的

当社はこれまで海外関連会社の生産現場において、大きな保安事故を起こすことなく操業を続けてまいりましたが、2018年5月に海外関連会社 Kuraray America Inc.のエバール工場において負傷者を伴う火災事故が発生しました。このような事故を二度と起こさないために、2019年度より本社主導で海外主要化学プラントの安全監査を実施し、安全対策の見直し・強化を図っています。

##### (2) 2020年度 安全監査の実施結果

- ・ 欧州の2工場、米国の2工場において安全監査を実施しました。欧州2工場は実地監査を実施し、米国の2工場については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、リモートにて監査を実施しました。
- ・ 2020年度の安全監査において、2019年度に抽出された課題の改善状況の確認と、新たなる課題を抽出しました。

① マネジメントシステムの改善

課題	進捗及び継続課題
変更管理（規定/基準、設備、オペレーション等のあらゆる変更に対するリスクアセスメント）の具体的手法の見直しと変更実施後の効果の確認の徹底	進捗：変更管理システムの運用強化および全社員に対する周知方法を改善 継続：全社員に対しての理解度の確認、および変更実施後の効果の確認の定着
特定作業（リスクの高い作業）の許可・承認権限について具体的事例の記載を追加し、さらに明確化する	進捗：特定作業の承認プロセスにおける許可・承認権限者の明確化と、それに伴う許可・承認権限者の一部変更 継続：許可・承認権限者の変更（グローバル統一）

② 教育・訓練の充実

プラントの高リスク項目に関するさらなる教育の充実	進捗：高リスク項目に関する教育の実施 継続：教育の継続実施と理解度の向上
緊急対応マニュアルの見直し・改善、および従業員への周知を徹底	進捗：緊急対応マニュアルの見直しを完了 継続：従業員への周知と理解度の確認

③ リスクアセスメントの拡大

非常常（立上げ、停止時）作業に HAZOP（危険源の抽出と対策）を導入	進捗：非常常 HAZOP の導入の推奨 継続：同上 追加：プラント安全計装システムの再評価と重大化防止策の強化
文章により標準化されていない作業をゼロにする	進捗：臨時作業を掘り起こし、関係者で協議の上マニュアル化 継続：臨時作業の掘り起こし継続

(3) 2021 年度計画およびポイント

- ・ 2020 年度までに安全監査実施未了プラントおよび 2 巡目の海外プラント安全監査の実施
- ・ 変更管理：全社員に対しての理解度の確認、および変更実施後の効果の確認の定着
- ・ 特定作業：当社内部による作業監査に加え、外部専門機関を活用した作業監査の実施による入構工事業者の安全レベルの向上
- ・ 人材育成を含む管理面（運転・設備管理）の課題抽出と発掘課題に対する実効性の高い対策の立案と実行
- ・ プラント安全計装システムの再評価と重大化防止策の強化

以上